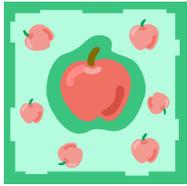


野菜の作業

パイプハウスを活用した冬期から来春に向けた作付け計画を立てましょう！

種まき	定植 (植付け)	栽培のポイント
<p>・ホウレンソウ 栽培しやすい品種 オーライ トライ</p> <p>・二十日ダイコン (ラディッシュ) 栽培しやすい品種 コメット (赤丸) ロングスカーレット (赤長)</p> <div data-bbox="135 1010 359 1205" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>パイプハウス</b> 今年も助成がありますので積極的に活用して下さい！</p> </div>	<p>・イチゴ ・タマネギ</p> <hr/> <p style="text-align: center;"><b>収 穫</b></p> <p>・ハクサイ ・葉ねぎ ・サトイモ ・シュンギク ・ダイコン ・ニンジン ・野沢菜 ・チンゲンサイ ・長芋 など</p>	<p><b>【冬期間の追肥について】</b> 冬期間は気温が低いため野菜の追肥を行う場合、肥効が早い「液肥」の施用が有効です。 窒素肥料は大きく分け尿素態と硝酸態の窒素に分かれますが、硝酸態の窒素を多く含んでいる方が肥効が早くなります。表は気温 10℃ (低温) での肥効発現の試験ですが硝酸態窒素を多く含む肥料が早期から安定した肥効を示すことが分ります。冬期は硝酸態窒素を多く含む液肥の使用がポイントです！</p> <div data-bbox="1002 752 1437 1122" style="text-align: center;"> <p>表1 液肥の肥効発現事例</p> </div>
<p><b>【タマネギの定植について】</b> 収穫時に葱坊主ができるのは、定植が早すぎ、生育が旺盛になり過ぎた場合に多い。 (10月中旬以降の定植を！)</p> <p>(良いタマネギの苗とは?) 草丈 25 cm 程度で茎の太さ 5 mm 程。</p> <p>(畑の準備：10 m<sup>2</sup> 当たり) 堆肥 20 kg、サライム 150 g 化成肥料 1.3kg</p> <p>(定植方法) 植付けの深さは 4 cm 程度とし、覆土を足で踏みつけ凍み上がりを防ぐ。</p> <div data-bbox="118 1928 370 2145" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="370 1966 592 2134" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>追肥 (10 m<sup>2</sup>)</u> 3月下旬に化成肥料を 400 g 施用する</p> </div>	<p><b>【パイプハウス・小トンネルを活用して冬期間も葉野菜を作りましょう！】</b></p> <p>①ホウレンソウ ・ホウレンソウの栽培では、品種選択が重要です。 冬期間の栽培には東洋種(葉のギザギザが強い)が向きます。 冬期間の栽培に向く品種⇒オーライ・トライ等 ・酸性土壌を嫌うので、は種2週間前には10 m<sup>2</sup> 当たり 2 kg の石灰を散布し、土壌改良をしておきましょう。 ・本葉が出始めたら順次間引きを行い、本葉が4枚になる頃までに株間3~4 cm になるように間引きを行います。</p> <p>②コマツナ ・冬期間の栽培に向く品種⇒浜美2号 (周年栽培向き) ・パオパオ90やパスライト等を「べた掛け」すると生育が安定します。</p> <p>③シュンギク ・中葉種の品種が作り易い。 ・冬期間の栽培に向く品種 ⇒ さとあきら (初期生育が良く多収)</p> <div data-bbox="1034 1816 1417 2089" style="text-align: center;"> </div>	

# 果樹（りんご）の作業



「ふじ」は10月の作業（葉摘み・玉回し）が重要です！

## 【葉摘み・玉回しについて】

支柱を立て・枝つりを行い、光が良く当たるようにしてから葉摘みにとりかかります。「葉つみ」を行わないと着色が悪く、玉回しが難しくなります。また葉を取りすぎると着色が深くなり、ツヤのない「フケ果」になります。また蜜が入らず「軽いふじ」になり易くなります。

少量の葉摘みで、効率的に一回りする事が大切です。果実がずいぶん暗い状況なら、果実の着色に影響する周囲の葉や新梢（徒長枝）を適宜除去して、日当たりを良くしましょう。2回目の葉摘みは10月半ば過ぎから着色が進んできたら行います。

玉回しも同時に進めて下さい。



# 農業豆知識

## 質問コーナー

ハウレンソウがうまく生えましたが、下葉から黄色くなって枯れてしまいました。「pHが合わなかった。」と言われてましたが、良い対策を教えてください。

ハウレンソウが下葉から黄色くなって枯れたのは、石灰による酸性土壌の矯正不足と思われます。ハウレンソウはpH7～7.5（中性～アルカリ）を好みますので、種まき前に土壌のpHを測定し石灰を散布して酸性土壌を矯正しておくことが大切です。単に石灰を散布するのではなく、現状の土壌pHを知り石灰による酸度矯正量の算出をお勧めします。

上小地域の一般的な土壌（壤土）では、pHを1上げるのに10㎡あたり2kgの石灰（苦土石灰・サンライム等）が必要です。

（例）10㎡当たりで、現状pH5.5の土壌を、目標値pH7.0に矯正するには・・・

【計算】  $7.0 - 5.5 = 1.5$  1.5（矯正量）× 2kg（石灰散布量の基準） = 3kg

故にpH5.5の土壌を、目標値pH7.0に矯正するには10㎡に3kgの石灰散布が必要

簡易にpH測定ができる資材がありますので以下に紹介をします

【アースチェック（液）】・・・JAグリーンファームで取り扱っています。（@約500円/本）

・土壌pHが手軽にチェックでき土づくりの目安や植物の生育状況の把握に役立ちます。

## 主な野菜の目標pH

アスパラガス	6～7	ソラマメ	5.5～6.5
イチゴ	5.5～6.5	タマネギ	6～7
キャベツ	6～6.5	トマト	5.5～6.5
キュウリ	5.5～6.5	ナス	5.5～6.5
サツマイモ	5～6	ニンジン	6～7
ジャガイモ	5～6	ハウレンソウ	7～7.5

- 土壌酸度(pH)を手軽に測定できます。
- 植物にはそれぞれ栽培に適した土壌酸度(pH)があり、適した土壌で育てることが大切です。土壌酸度(pH)は降雨(灌水)、施肥などによっても変化します。植え付け、植え替え時はもちろん、定期的に土壌酸度(pH)をチェックして、より良い環境で植物を育てましょう。

### ■剤型・使用方法

●液剤・そのまま散布

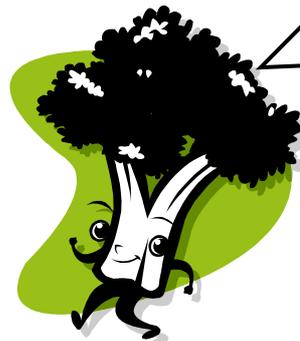
### ■使用方法

- 1: コップ等の容器に測定する土壌1に対し水道水を2の割合で加え、よくかき混ぜます
- 2: できるだけゴミ等を取り除いて、澄んだうわずみの部分を添付の試験管に2.5ccとります
- 3: アースチェック液を3滴加え、試験管のふたをしてよく振りまします
- 4: 土壌酸度(pH)によって色が変わりますので、添付の比色表で比較して測定します。測定後、試験管の水は直ちに捨て、水道水でよく洗ってください。（連続して測定する場合は、予め測定するうわずみで試験管をすすいでから測定すると、より正確な値が出ます）

（アースチェック使用方法）

住化ケイ園芸(株)ホームページより

## 野菜ひとくちメモ ブロッコリー



僕は明治の初期に日本に導入されましたが・・・当初はあまり普及しませんでした。

しかし近年、鮮やかな緑色が皆さんに好まれるようになり、また栄養価（加チ・カルシウム・ビタミンCに富む）も再認識され需要が伸びています！

紫色を帯びる場合もありますが、これは低温のせい。茹でればまたきれいな緑色になります。味は変わりませんよ！